

小樽市の研究活動

研修部長 小樽市立手宮西小学校
校長 加藤 邦彦

1. はじめに

小樽市小学校長会は、社会の変化をとらえ、子どもに社会を生き抜くために必要な資質・能力・態度を育成し、市民の信頼に応える学校づくりを目指し、各学校において学校経営を進めている。本年度は平成21年度よりの5年間の研究の最終年度となっている。以下、研究活動の概要を示す。



2. 研究計画

(1) 研究課題

「新しい時代を拓き 心豊かにたくましく生きる 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」～心豊かに学び ふるさとに夢と誇りをもち たくましく生きる子どもの育成～

(2) 研究組織

組織部、研修部、調査広報部、厚生部の4つの専門部がそれぞれ研究主題を設定し、研修活動を推進している。

(3) 年間計画

- 4月 研究推進計画の策定
- 5月～12月 研究の推進
- 1月 研究のまとめ（研究発表会の開催）
- 2月～3月 次年度の研究の構想

3. 研究活動（各専門部の研究活動）

(1) 組織部

① 研究主題

「信頼に応える学校づくりと学校経営の在り方」

② 研究内容

<視点>

- 学校課題の解決のため、学校の組織力の向上の観点から校内研修等の改善・充実に資する学校経営の在り方と校長の指導性について究明する。

<内容>

- 学校の組織力の向上と校内研修の果たす機能にかかわる校長の課題意識と解決方策を探るとともに、関係法規の整備による「校長必携」の編集を行う。
- 効果的に校内研修等を展開している学校における学校組織マネジメントについての研修を行う。

(2) 研修部

① 研究主題

「健やかな体の育成をめざす学校づくりの推進」

② 研究内容

＜視点＞

- 安全教育を組織的に進めていくためにはどのような手立てが有効か
- 保護者や地域、関係機関と連携した取組をどのように進めるか

＜内容＞

- 安全教育に対する基本的な方針を明らかにした指導計画をもとに、日常の学校生活において安全教育を効果的に進めるための学校全体としての取組の方策を探る。
- 学校、保護者、地域、関係機関のそれぞれの役割を見直しながら、学校における安全体制をより確かなものにするための連携について、現状と課題を明らかにする。

(3) 調査広報部

① 研究主題

「豊かな心の育成を図る教育の充実と校長の指導性」

② 研究内容

＜視点＞

- 「読書活動の推進」と「人権教育の推進」を重点とした研究の推進
- 豊かな心の育成に向けた5つの観点による研究の推進

＜内容＞

- 学校図書館を活用した教育活動や人権教育を推進するための全体計画について、それぞれ実践例を集約する。
- 「道徳性の育成」、「読書活動の推進」、「生徒指導の充実」、「体験的な活動の充実」、「人権教育の推進」と各教科等の指導を関連させた実践例を集約する。

(4) 厚生部

① 研究主題

「たくましく生きる心と体を育てる『食に関する指導の充実』と校長の指導性」

② 研究内容

＜視点＞

- 「食に関する指導の充実」に向けた実態把握と結果の分析及び課題の把握
- 分析結果をもとにした「食育の推進」を図る授業実践

＜内容＞

- 給食センター及び市内の栄養教諭と連携して「食に関する意識調査」を行い、学校経営における食育の位置づけや食育と学習の関わり等を分析する。
- 給食センターとの連携について、「給食センターの運営」、「学校と給食センターとの連携」、「給食センターの改善内容と課題」等を明らかにする。

4. おわりに

これまでの5年間にわたる研究は、「小樽市学校教育推進計画（二次計画）」の推進と軌を一にする取組であった。それは計画の重点目標の具現化のために、各専門部が研究主題や研究の視点を拠り所として、日常の実践をより確かなものとするための試みでもあった。この取組により各学校のマネジメントサイクルが確立され、全市的な教育活動に一定の平準化が図られたことから、平成26年度からは新しい学校教育推進計画「スタンダード24」が策定される。

今後とも、子どもが輝く学校の実現に向けて、未来の形成者である子どもの資質・能力の育成を目指す教育を進める専門家として、校長が力強くリーダーシップを発揮することができるときの研究を志向していきたい。